

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Eコート

試合区分: No. 445 少年女子 準決勝

期 日: 2006(H18)年10月4日(水)

主審: 山崎 仁士

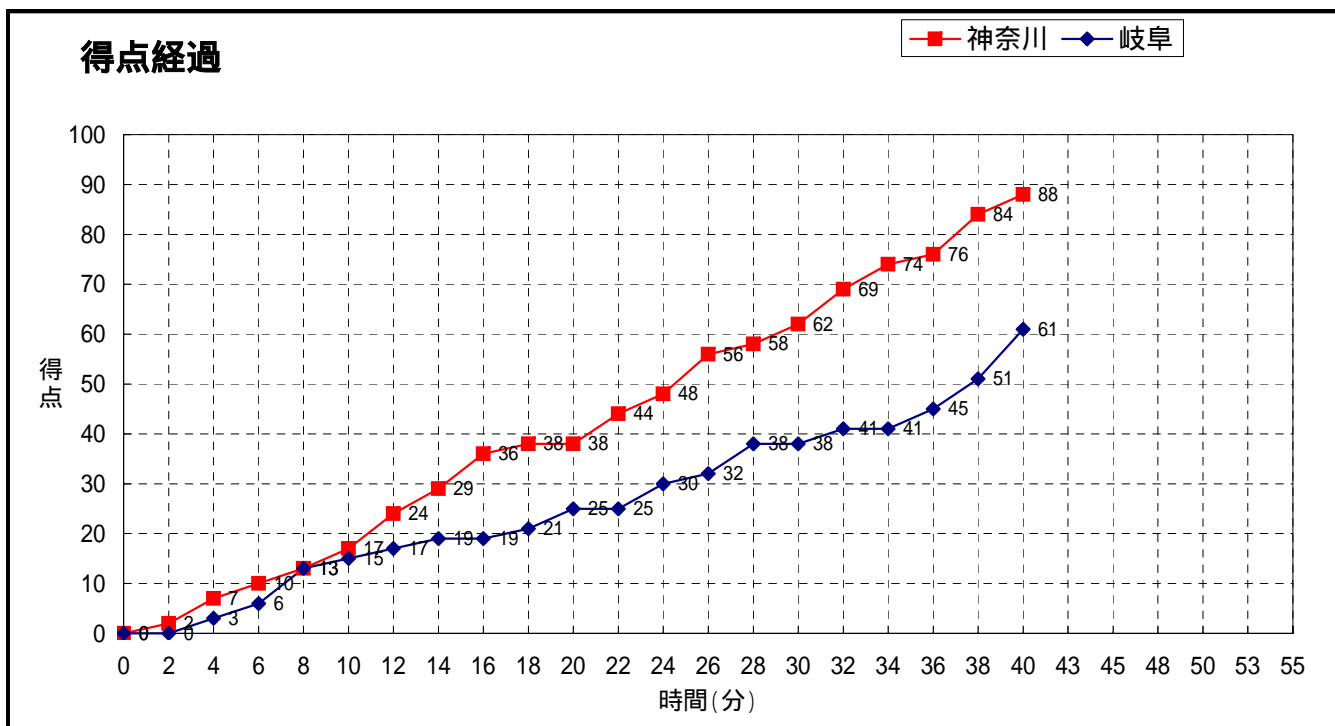
開始時間: 11:55

副審: 蒲 健一

終了時間: 13:16

神奈川						岐阜									
(関東)						(東海)									
88						61									
17 -st1- 15															
21 -2nd- 10															
24 -3rd- 13															
26 -4th- 23															
-OT1-															
-OT2-															
-OT3-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	中畑 恵里	14	2	4	0	4	4		安井 未帆	9	1	3	0	4
5	*	岩澤 真奈美	23	1	7	6	2	5		小野 奈津美	0	0	0	0	1
6	*	武笠 恵理	16	1	5	3	3	6	*	田中 優里	13	0	5	3	0
7	*	小谷 紀子	15	1	6	0	0	7		張 麗娜	0	0	0	0	0
8	*	中村 茜	5	1	1	0	1	8		山川 奈々	0	0	0	0	1
9		釘屋 綾子	6	0	3	0	0	9	*	田中 沙季	8	0	3	2	0
10		松木 ひかり	2	0	1	0	2	10	*	水谷 佳代	0	0	0	0	1
11		安田 理佐	0	0	0	0	1	11	*	伊藤 恭子	21	2	5	5	2
12		山地 奈菜	5	1	0	2	0	12	*	茅谷 由希子	10	0	5	0	4
13		今野 紗央里	2	0	1	0	0	13		角島 藍	-	-	-	-	-
14		栗田 志織	0	0	0	0	0	14		小倉 梓	-	-	-	-	-
15		長谷川 由佳	0	0	0	0	0	15		森本 杏奈	-	-	-	-	-
コーチ		岡崎 朝夫						コーチ		安江 満夫					
		合計	88	7	28	11	13			合計	61	3	21	10	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、トスアップから開始3秒神奈川#4中畑がレイアップシュートを決める。しかし、その後両チーム、ターンオーバーが続き得点が伸びない。試合が動いたのは残り7分、神奈川#7小谷のシュートを皮切りに、岐阜が#11伊藤のシュートで応酬、ゲームが激しさを増す。神奈川#4中畑が連続3Pシュートを決めたところで、残り4分岐阜タイムアウト。このタイムアウトで岐阜は、元気になり、#4安井の連続シュートや#11伊藤のシュートで、残り2分ついに岐阜が逆転に成功。その後は互いにシュートを入れ合い、17-15と神奈川リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、先手をとったのは神奈川。#6武笠、#7小谷、#5岩澤のシュートが決まり24-15と神奈川がリードする。一方、岐阜も#9田中(沙)から#11伊藤へのバックドアップレイから得点し、さらに#7張を入れてインサイドを強化するが、神奈川はハイポスト付近を巧みに使い、シュートに持ち込む。残り4分、神奈川#7小谷の美しいフォームから放たれた3Pシュートがリングに沈んだところで、岐阜がタイムアウト。岐阜はもう一度粘り、6点詰めたが38-25と神奈川がリードして前半を終了する。第3ピリオド、後半の初得点も神奈川#4中畑のドライブインシュートであった。神奈川は#8中村、#7小谷、#6武笠らのシュートが次々と決まる。一方岐阜も#9田中(沙)のターンシュートや#11伊藤の3Pシュート、更にはディフェンスで積極的にトラップを仕掛けるが、思うように点差が縮まらない。62-38と神奈川がリードして第3ピリオド終了。第4ピリオド、岐阜は監督の「激」に選手が反応する。ディフェンスに迫力が増し、#6田中(優)のフリースロー、#4安井の意地のジャンプシュートが決まる。しかし神奈川は、#9釘屋ら交代メンバーのシュートも次々とリングネットを揺らす。岐阜も最後まで諦めず、守備範囲を広げ元気を貫く。最後はインサイドにボールを集め加点するがここまでついた点差はいかんともしがたい。結局、神奈川が88-61で快勝、決勝進出を決めた。

担当者: 宮崎 智之(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会